



家庭(保護者)・保育士・栄養士と連携し、 信頼関係をつくる。



●子ども ◆保育者

たんぽぽ組(0歳児) 6か月～1歳6か月

- 手づかみ食べを中心とした食事を大切に、スプーンを持って口に運べるようになる。
- 空腹になってから、ミルクを飲んだり、離乳食を食べたりするというリズムが出来る。
- ◆「おいしいね」などの言葉かけを大切に、食事を楽しむ。
- ◆栄養士と連携し、子どもの成長に合わせた食事を目指す。
- ◆手づかみしやすいメニューを取り入れる。

たんぽぽ組(1歳児) 1歳6か月～2歳未満

- スプーンを持って食べる。
- スープ・お茶等は、器を両手で持って飲む。
- 幼児食で、多くの食感や味覚を味わう。
- ◆子どもとの信頼関係をつくり、安心して食事が出来る環境作りをする。
- ◆自分で食べようとする意欲をサポートする。
- ◆こぼしても見守り「上手に食べれたね」、苦手な物「○○食べれたね」と言った子どもの気持ちに寄り添った声かけをする。

すみれ組(2歳～)

- 散歩の中で自然に触れ、田畑の野菜や果物に興味を持つ。
- スプーンやフォークを持って自分で食べる意欲を持つ。
- 食事のマナーや挨拶(いただきます・ごちそうさま)を知る。
- 一緒に食べる楽しさを味わう。
- ◆「美味しいね」「良いにおいがするね」「何が入っているかな」等(五感を使う)声掛けを大事にする。

ばら組(年少)

- 当番活動を開始する。(台拭きは、自分でしぼって拭く)
- スプーン・フォークを使ってこぼさず食べる⇒箸の練習をする。(食事中には注意しない。遊びの中で始める)
- 給食を楽しみにする。(メニューを気にしたり、話題にする)
- 共食の楽しさを味わう。
- 食事のマナーを身につける。

ゆり組(年中)

- 当番が台拭きや配膳を手伝う。
- いろいろな味が分かり、食材に興味を持つ。
- 箸で上手に食べられるようになる。
- 友達と会話を楽しみながら、和やかに食事する。
- マナーを守って食事する。

きく組(年長)

- 当番が中心となり、友達と協力し、自分達で出来ることをする。
- クッキング保育等を通して作る喜びや達成感を味わう。
- 食事のマナーを身につける。
- 感謝の気持ちを持つ。
- 身体と食べ物との関係を知る。
- 箸を使って食べる事に慣れる。

お腹がすくりズムのもてる子ども

一緒に食べたい人がいる子ども

食べものを話題にする子ども

食育で目指す子どもの像

食べたいもの、好きなものが増える子ども

食事づくり、準備にかかわる子ども

食育の5項目

1. 食と健康
2. 食と人間関係
3. 食と文化
4. いのちの育ちと食
5. 料理と食